

NetCOBOL V10.5.0



リリース情報

Linux(64)

J2UL-1339-03Z0(00)
2012年12月

まえがき

本書は、NetCOBOLのリリース情報について説明します。

NetCOBOLシリーズについて

NetCOBOLシリーズの最新情報については、富士通のサイトをご覧ください。

<http://software.fujitsu.com/jp/cobol/>

商標について

- OracleとJavaは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- Microsoft、Windows、Windows ServerおよびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- その他の会社名または製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

製品の呼び名について

本書に記載されている製品の名称を、以下のように略して表記します。

正式名称	略称
Red Hat(R) Enterprise Linux(R) 5 (for Intel64) Red Hat(R) Enterprise Linux(R) 6 (for Intel64)	Linux
Microsoft(R) Windows(R) XP Home Edition operating system Microsoft(R) Windows(R) XP Professional operating system	Windows XP
Windows Vista(R) Home Basic Windows Vista(R) Home Premium Windows Vista(R) Business Windows Vista(R) Enterprise Windows Vista(R) Ultimate	Windows Vista
Windows(R) 7 Home Premium Windows(R) 7 Professional Windows(R) 7 Enterprise Windows(R) 7 Ultimate	Windows 7
Windows(R) 8 Windows(R) 8 Pro Windows(R) 8 Enterprise	Windows 8
Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Standard Edition Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Enterprise Edition Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Standard Edition Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Enterprise Edition Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Standard x64 Edition Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Enterprise x64 Edition Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Standard x64 Edition Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Enterprise x64 Edition	Windows Server 2003

正式名称	略称
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Foundation Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard without Hyper-V(TM) Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise without Hyper-V(TM) Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Datacenter Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Datacenter without Hyper-V(TM) Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Foundation Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Standard Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Enterprise Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Datacenter	Windows Server 2008
Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 Datacenter Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 Standard Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 Essentials Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 Foundation	Windows Server 2012

- ・ 「Linux」64ビットモードを指す場合は「Linux(64)」と表記します。
- ・ 次の製品すべてを指す場合は、「Windows」と表記します。
 - － Windows XP
 - － Windows Vista
 - － Windows 7
 - － Windows 8
 - － Windows Server 2003
 - － Windows Server 2008
 - － Windows Server 2012

本書の目的

本書は、旧版からの機能追加、障害修正、およびそれらに伴う互換に関する情報を説明しています。
旧版を使用していたお客さまが、より円滑に本製品に移行できることを目的としています。

本書の対象読者

旧製品を導入されており、本製品への移行を検討されている方、あるいは移行中の方を対象としています。

本書の位置づけ

本書は、機能追加、障害修正、およびそれらに伴う互換に関する情報を説明していますが、断片的な情報ですので、全体像、あるいは詳細な情報はそれぞれのプログラムのマニュアルを参照してください。

関連マニュアル

この製品および関連製品のマニュアルには、本書の他に以下のマニュアルがあります。

- ・ NetCOBOL V10.5 COBOL 文法書
- ・ NetCOBOL V10.5 使用手引書

- NetCOBOL V10.2 COBOL ファイルアクセスルーチン使用手引書
- NetCOBOL V10.5 メッセージ説明書
- NetCOBOL V10.1 例題プログラム
- NetCOBOL V10.5 Migration CJC for INTARFRM 連携機能運用ガイド
- MeFt V10.3 ユーザーズガイド
- MeFt V10.2 メッセージ集
- J アダプタクラスジェネレータ V10.2 使用手引書
- MeFt/Web V10.5 説明書
- SIMPLIA/TF-MDPORTオンラインマニュアル
- PowerSORT V6.1 ユーザーズガイド

輸出管理規制について

本ドキュメントを輸出または提供する場合は、外国為替および外国貿易法および米国輸出管理関連法規等の規制をご確認の上、必要な手続きをおとりください。

お願い

- 本書を無断で他に転載しないようお願いします。
- 本書は予告なしに変更されることがあります。

2012年12月

Copyright 2009-2012 FUJITSU LIMITED

目次

第1章 追加機能の概要.....	1
1.1 コンポーネント共通.....	1
1.1.1 コンポーネント共通の追加機能概要.....	1
1.2 NetCOBOLの追加機能概要.....	1
1.2.1 NetCOBOL V10の追加機能概要.....	1
1.3 MeFtの追加機能概要.....	3
1.3.1 MeFt V10の追加機能概要.....	4
1.4 Jアダプタクラスジェネレータの追加機能概要.....	4
1.4.1 アダプタクラスジェネレータ V10の追加機能概要.....	4
1.5 MeFt/Webの追加機能概要.....	4
1.5.1 MeFt/Web の追加機能概要.....	4
1.6 SIMPLIA/COBOL支援キット.....	5
1.6.1 SIMPLIA/TF-LINDA.....	5
1.6.2 SIMPLIA/TF-MDPORTの追加機能概要.....	5
1.7 PowerSORTの追加機能概要.....	5
第2章 互換に関する情報.....	6
2.1 NetCOBOL開発環境の互換に関する情報.....	6
2.1.1 環境変数LD_LIBRARY_PATHに設定するInterstage Charset Managerの格納ディレクトリ名の変更.....	6
2.1.2 障害修正に関する互換情報について.....	6
2.2 NetCOBOL運用環境の互換に関する情報.....	8
2.2.1 障害修正に関する互換情報について.....	8
2.3 MeFtの互換に関する情報.....	10
2.3.1 障害修正に関する互換情報について.....	11
2.4 Jアダプタクラスジェネレータ開発環境の互換に関する情報.....	13
2.5 Jアダプタクラスジェネレータ運用環境の互換に関する情報.....	13
2.6 MeFt/Web.....	13
2.7 SIMPLIA/COBOL支援キット.....	13
2.8 PowerSORTの互換に関する情報.....	13
第3章 プログラム修正一覧.....	14
3.1 NetCOBOL開発環境のプログラム修正一覧.....	14
3.2 NetCOBOL運用環境のプログラム修正一覧.....	15
3.3 MeFtのプログラム修正一覧.....	15
3.4 Jアダプタクラスジェネレータ開発環境のプログラム修正一覧.....	16
3.5 Jアダプタクラスジェネレータ運用環境のプログラム修正一覧.....	16
3.6 MeFt/Webのプログラム修正一覧.....	16
3.7 SIMPLIA/COBOL支援キット.....	16
3.8 PowerSORTのプログラム修正一覧.....	17

第1章 追加機能の概要

ここでは、各コンポーネントで追加された機能の概要と内容を説明します。

1.1 コンポーネント共通

ここに記載する情報は、以下の製品に適用されます。

- NetCOBOL Base Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Base Edition 運用パッケージ
- NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Standard Edition 運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ

1.1.1 コンポーネント共通の追加機能概要

表1.1 コンポーネント共通の追加機能概要

項番	V/L	機能名	内容	マニュアルの記載場所
1	V10.5.0	富士通共通ツール	富士通ミドルウェアのアンインストールと管理に対応しました。	◆ソフトウェア説明書 ・ インストール手順

V/Lは、NetCOBOLシリーズのバージョン・レベルを示します。

1.2 NetCOBOLの追加機能概要

ここに記載する情報は、以下の製品に関するものです。

- NetCOBOL Base Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Base Edition 運用パッケージ
- NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Standard Edition 運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ

1.2.1 NetCOBOL V10の追加機能概要

表1.2 NetCOBOL V10の追加機能概要

項番	V/L	機能名	内容	マニュアルの記載場所
1	V10.5.0	Hadoop連携機能 (注1)	COBOLプログラムをMapReduceアプリケーションとして分散並列実行できるようになりました。	◆Hadoop連携機能使用手引書
2	V10.5.0	Migration CJC for INTARFRM連携機能 強化	マルチウィンドウ(複数画面)を表示できるようになりました。	◆Migration CJC for INTARFRM 連携機能運用ガイド

項番	V/L	機能名	内容	マニュアルの記載場所
3	V10.5.0	日本語のコード系に依存しないプログラムのサポート	日本語のコード系に依存しないプログラムを作成できるようになりました。	◆使用手引書 ・ 23.2.3 コード系の混在
4	V10.3.0	Migration CJC for INTARFRM 連携機能	既存のCOBOL資産から高い互換性を維持したまま、Javaと連携したインターネット対応システムを構築できるようになりました。	◆Migration CJC for INTARFRM 連携機能運用ガイド
5	V10.3.0	MeFt/Web	表示ファイル機能で、MeFt/Webと連携できるようになりました。	◆使用手引書 ・ 第8章 画面を使った入出力 ◆MeFt/Web説明書
6	V10.2.0	ファイルの高速処理の一括指定サポート	レコード順・行順ファイルに有効となるファイルの高速処理(BSAM)機能を一括して指定できるようになりました。	◆使用手引書 ・ 6.8.1.2 ファイルの高速処理
7	V10.2.0	DISPLAY文のシスログ出力サポート	DISPLAY文の出力先として、シスログを指定できるようになりました。	◆使用手引書 ・ 10.1 小入出力 ・ 付録E 環境変数一覧 — CBR_DISPLAY_CONSOLE_OUTPUT(DISPLAY UPON CONSOLEのシスログ出力指定) — CBR_DISPLAY_SYSERR_OUTPUT(DISPLAY UPON SYSERRのシスログ出力指定) — CBR_DISPLAY_SYSOUT_OUTPUT(DISPLAY UPON SYSOUTのシスログ出力指定) — CBR_DISPLAY_CONSOLE_SYSLOG_LEVEL(DISPLAY UPON CONSOLEのシスログ出力時のレベル指定) — CBR_DISPLAY_SYSERR_SYSLOG_LEVEL(DISPLAY UPON SYSERRのシスログ出力時のレベル指定) — CBR_DISPLAY_SYSOUT_SYSLOG_LEVEL(DISPLAY UPON SYSOUTのシスログ出力時のレベル指定) — CBR_DISPLAY_CONSOLE_SYSLOG_SRCNAME (DISPLAY UPON CONSOLEのシスログ出力時のアイデンティティ名指定) — CBR_DISPLAY_SYSERR_SYSLOG_SRCNAME

項番	V/L	機能名	内容	マニュアルの記載場所
				(DISPLAY UPON SYSERR のシスログ出力時のアイデン ティティ名指定) — CBR_DISPLAY_SYSOUT_ SYSLOG_SRCNAME (DISPLAY UPON SYSOUT のシスログ出力時のアイデン ティティ名指定)
8	V10.2.0	CHECK機能抑止の実 行時オプションサポート	CHECK機能を抑止する下記の実行 時オプションをサポートしました。 <ul style="list-style-type: none"> • nocb : CHECK(BOUND) • noci : CHECK(ICONF) • nocn : CHECK(NUMERIC) • nocp : CHECK(PRM) 	◆使用手引書 <ul style="list-style-type: none"> • 4.2.2 実行時オプションを指定す る
9	V10.2.0	TRACE機能抑止の実 行時オプションサポート	TRACE機能を抑止する実行時オプ ション"nor"をサポートしました。	◆使用手引書 <ul style="list-style-type: none"> • 4.2.2 実行時オプションを指定す る
10	V10.2.0	トレース情報ファイルの マルチプロセスサポー ト	トレース情報ファイルをプロセス毎に 出力できるようになりました。	◆使用手引書 <ul style="list-style-type: none"> • 5.2.2トレース情報
11	V10.2.0	シフトJISサポート (注2)	COBOLプログラムのデータをシフト JISで扱うアプリケーションの作成機 能を提供しました。	◆使用手引書 <ul style="list-style-type: none"> • 第24章 シフトJIS資産の活用

注1: Enterprise Editionで提供される機能です。

注2:

シフトJISを扱うアプリケーションを動作させる場合、関連するソフトウェアは下表の製品をお使いください。下表以外との組み合わせは、動作を確認していません。

項番	製品名	バージョンレベル
1	MeFt	V10.2.0以降
2	PowerSORT	V6.0.0以降
3	SIMPLIA/TF-LINDA	V50L41以降
4	SIMPLIA/TF-MDPORT	V5L6
5	Interstage Charset Manager	V9.1.1以降
6	Interstage Application Server	V10.0.0以降
7	Interstage List Creator Enterprise Edition (e-Doc Generator: PDF出力)	V9.1.0以降
8	Systemwalker Centric Manager Enterprise Edition	V13.3.0以降
9	PrintWalker/LXE または PrintWalker/LXE-EX	V15L11以降
10	Pro*COBOL	11.2.0

1.3 MeFtの追加機能概要

ここに記載する情報は、以下の製品に関するものです。

- NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Standard Edition 運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ

1.3.1 MeFt V10の追加機能概要

表1.3 MeFt V10の追加機能概要

項番	V/L	機能名	内容	マニュアルの記載場所
1	V10.3.0	IPv6サポート	IPv6のネットワーク環境で利用できるようになりました。	◆ユーザーズガイド • 1.5 エンハンス機能
2	V10.2.0	文字コード追加	利用者プログラムの文字コード系にシフトJISを追加しました。	◆ユーザーズガイド • 1.5 エンハンス機能

1.4 Jアダプタクラスジェネレータの追加機能概要

ここに記載する情報は、以下の製品に関するものです。

- NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Standard Edition 運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ

1.4.1 アダプタクラスジェネレータ V10の追加機能概要

表1.4 Jアダプタクラスジェネレータ V10の追加機能概要

項番	V/L	機能名	内容	マニュアルの記載場所
1	V10.2.0	シフトJISサポート	COBOLプログラムのデータをシフトJISで扱うアダプタクラスの作成機能を提供しました。	◆Jアダプタクラスジェネレータ使用手引書 • 3.4 Unicode環境で動作するシフトJISアプリケーション

1.5 MeFt/Webの追加機能概要

ここに記載する情報は、以下の製品に関するものです。

- NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Standard Edition 運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ

1.5.1 MeFt/Web の追加機能概要

表1.5 MeFt/Web の追加機能概要

項番	V/L	機能名	内容	マニュアルの記載場所
1	V10.5.0	新OSサポート	MeFt/WebクライアントにおいてWindows 8での動作をサポートしました。	—
2	V10.3.0	MeFt/Webサポート	NetCOBOLからMeFt/Web連携ができるようになりました。	—

1.6 SIMPLIA/COBOL支援キット

ここに記載する情報は、以下の製品に関するものです。

- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ

1.6.1 SIMPLIA/TF-LINDA

表1.6 SIMPLIA/TF-LINDAの追加機能概要

項番	V/L	機能名	内容	マニュアルの記載場所
1	V50L70 (V10.3.0)	IPv6サポート	IPv6のネットワーク環境をサポートしました。	—
2	V50L70 (V10.3.0)	利用者定義変換テーブル	利用者定義変換テーブルを使用したデータ変換をサポートしました。	—
3	V50L70 (V10.3.0)	ディレクトリ/ファイル名リストボックス	表示可能な項目数を999から32767に拡張しました。	—
4	V50L70 (V10.3.0)	レコード形式画面 ／一覧形式画面	以下の操作をサポートしました。 <ul style="list-style-type: none"> • Unicode 文字によるデータの入力 • JEF 拡張漢字の表示と入力 • 印刷時のユーザ指定フォントの保存 	—

注) ()内のバージョンはNetCOBOLシリーズでのバージョンレベルを示します。

1.6.2 SIMPLIA/TF-MDPORTの追加機能概要

表1.7 SIMPLIA/TF-MDPORTの追加機能概要

項番	V/L	機能名	内容	マニュアルの記載場所
1	V5L6 (V10.3.0)	シフトJISサポート	Unicodeロケール環境におけるシフトJISのCOBOLファイル変換をサポートしました。	SIMPLIA/TF-MDPORT オンラインマニュアル <ul style="list-style-type: none"> • 3.1.2 オペランド

注) ()内のバージョンはNetCOBOLシリーズでのバージョンレベルを示します。

1.7 PowerSORTの追加機能概要

ここに記載する情報は、以下の製品に関するものです。

- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ

PowerSORTの追加機能の情報は、“PowerSORT リリース情報”を参照してください。

第2章 互換に関する情報

ここでは、以前のバージョン・レベルから変更された互換に関する情報を記載します。

2.1 NetCOBOL開発環境の互換に関する情報

ここに記載する情報は、以下の製品に適用されます。

- NetCOBOL Base Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ

2.1.1 環境変数LD_LIBRARY_PATHに設定するInterstage Charset Managerの格納ディレクトリ名の変更

変更内容

V10.2.0以降で、コンパイラが使用するInterstage Charset Managerのライブラリが変更になりました。

ライブラリの変更によって、従来翻訳できていたプログラムの翻訳時に、翻訳時メッセージJMN1671I-Sなどが出力される場合があります。

JMN1671I-S 登録集原文の組込み中に入出力エラーが発生しました。登録集原文の組込みを中止します。

翻訳時メッセージが出力された場合は、環境変数の設定を確認してください。



参照

“メッセージ説明書”の“JMN1671I-S”

対処方法

環境変数LD_LIBRARY_PATHにInterstage Charset Managerの64ビット版ライブラリの格納ディレクトリを指定してください。



例

LD_LIBRARY_PATH=/opt/FSUNiconv/lib64

2.1.2 障害修正に関する互換情報について

ここでは、NetCOBOL開発環境について、NetCOBOL V10.2.0以降で修正された障害により動作が変わるものを、下表で説明します。

表2.1 NetCOBOL開発環境の障害修正に関する互換情報

項番	V/L(*)	P番号	変更内容
1	V10.1.0	PG75097	以下の環境・発生条件の場合、Windows版 NetCOBOL Studioのリモートデバッグ機能を使用して、Red Hat Enterprise Linux (for Intel64)上で動作するCOBOLアプリケーションに対するリモートデバッグを開始する際、「デバッガ本体部またはエンジン部でエラーが発生しました。(65535)」が表示され、デバッグを開始できないことがある問題を修正しました。 [環境] NetCOBOLのリモート開発において、サーバ環境が以下に該当する場合、本現象が発生します。 1. サーバがRed Hat Enterprise Linux (for Intel64)である。かつ、

項番	V/L(*)	P番号	変更内容								
			<p>2. サーバに、以下のいずれかの製品がインストールされている。かつ、</p> <ul style="list-style-type: none"> － Linux Intel64版 NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージV10.1.0 － Linux Intel64版 NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージV10.1.0 <p>3. サーバ上で使用しているgdbが7.0版以降である(RHEL5.5以降をインストールしている場合、またはgdb-7.0以降を単独でインストールしている場合が該当します)。</p> <p>[発生条件] COBOLアプリケーションを、Windows版 NetCOBOL Studioからリモートデバッグする場合。</p>								
2	V10.1.0	PG78440	<p>以下の条件の場合、実行時に、正しい結果が得られないことがある問題を修正しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 翻訳オプションBINARY(BYTE)またはBINARY(WORD,MLBOFF)が指定されている。かつ、 2. 以下の組み込み関数が存在する。かつ、 <p>[A]</p> <ul style="list-style-type: none"> － FUNCTION MAX － FUNCTION MIN － FUNCTION MEAN － FUNCTION MEDIAN － FUNCTION RANGE <p>[B]</p> <ul style="list-style-type: none"> － FUNCTION ANNUITY － FUNCTION NUMVAL － FUNCTION NUMVAL-C － FUNCTION RANDOM <ol style="list-style-type: none"> 3. 2.の関数の引き数が、全て9桁以下の固定小数点数字である。かつ、 4. 2.の関数が[A]の場合、引き数が4つ以上指定されている場合。 								
3	V10.1.0	PG77383	<p>以下の条件の場合、実行時に、正しい結果が得られないことがある問題を修正しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 翻訳オプションOPTIMIZEが有効である。(*1)かつ、 2. 内部10進項目を数字編集項目へ設定している文を記述している。かつ、 3. 内部10進項目と数字編集項目のけた数は、「整数部のけた数が同じ、かつ、小数部がない」である。かつ、 4. 数字編集項目は、編集方法にゼロ抑制のみを指定している(PICTUREの文字列には'9','Z','*'のみを使用している)。かつ、 5. 2.の文の前に、データ項目(または中間結果)を2.の内部10進項目へ設定する文(*2)を記述している。かつ、 6. 5.のデータ項目(または中間結果)のけた数と2.の内部10進項目のけた数の関係が次のようになっている。かつ、 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">データ項目 (または中間結果)</th> <th style="text-align: center;">内部10進項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> </tbody> </table>	データ項目 (または中間結果)	内部10進項目	2	3	4	5	6	7
データ項目 (または中間結果)	内部10進項目										
2	3										
4	5										
6	7										

項番	V/L(*)	P番号	変更内容										
			<table border="1"> <tr> <td>8</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>17</td> </tr> </table> <p>7. 5.のデータ項目(または中間結果)と2.の内部10進項目の両方に小数部がない。</p> <p>*1: デフォルトの翻訳オプションはOPTIMIZEです。</p> <p>*2: 数字転記はMOVE文だけでなく、COMPUTE文などの暗黙に転記が発生する場合も該当します。</p>	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
8	9												
10	11												
12	13												
14	15												
16	17												

* : V/Lは障害が存在する範囲を示します。

2.2 NetCOBOL運用環境の互換に関する情報

ここに記載する情報は、以下の製品に適用されます。

- NetCOBOL Base Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Base Edition 運用パッケージ
- NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Standard Edition 運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ

2.2.1 障害修正に関する互換情報について

ここでは、NetCOBOL運用環境について、NetCOBOL V10.2.0以降で修正された障害により動作が変わるものを、下表で説明します。

表2.2 NetCOBOL運用環境の障害修正に関する互換情報

項番	V/L(*)	P番号	変更内容
1	V10.1.0～ V10.2.0	PG87520	<p>以下のいずれかの条件のとき、実行時に内部ブール項目の転記結果に誤りが発生する問題を修正しました。</p> <p>【条件1】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 内部ブール項目から内部ブール項目への転記である。かつ、 2. 送出し側データ項目と受取り側データ項目のデータ開始位置(*)が異なる。かつ、 3. 送出し側データ項目のデータ開始位置(*)+(送出し側データ項目の長さ+受取り側データ項目の長さの小さい方) > 32 である。または受取り側データ項目のデータ開始位置(*)+受取り側データ項目の長さ > 32 である。かつ、 4. 受取り側データ項目が集団項目に従属している。かつ、 5. 受取り側データ項目の転記開始位置が、4.の集団項目のバイト境界の位置にない。かつ、 6. 「送出し側データ項目のビット長」<「受取り側のビットデータ開始位置から最初のバイト境界までのビット長」である。かつ、 7. 送出し側データ項目のビットデータがバイト境界を跨ぐ位置にある。または、送出し側データ項目の開始位置から6.の「受取り側の最初のバイト境界までのビット長」までの間にバイト境界がある場合 <p>*: バイト内相対ビット位置を指します。</p>

項番	V/L(*)	P番号	変更内容
			<p>条件1の例)</p> <pre> DATA DIVISION. WORKING-STORAGE SECTION. 01 DATA1. 02 DATA1-1 PIC 1(5) BIT. 02 DATA1-2 PIC 1(4) BIT. 02 DATA1-3 PIC 1(7) BIT. 01 DATA2. 02 DATA2-1 PIC 1(1) BIT. 02 DATA2-2 PIC 1(32) BIT. 01 ANS-DATA PIC 1(32) BIT VALUE B"1111". PROCEDURE DIVISION. MOVE X"FFFF" TO DATA1. MOVE DATA1-2 TO DATA2-2. IF DATA2-2 = ANS-DATA THEN DISPLAY "OK" ELSE DISPLAY "NG" *> B"111111110-00000000" END-IF. </pre> <p>【条件2】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 内部ブール項目から内部ブール項目への転記である。かつ、 2. 送出し側データ項目または受取り側データ項目が添え字参照されている。かつ、 3. 受取り側データ項目の長さ>1 である。かつ、 4. 以下のいずれかである。かつ、 <ul style="list-style-type: none"> — 送出し側データ項目の長さ>1 である。 — 受取り側データ項目が添え字参照されている。 — 受取り側データ項目の長さ>25 である。 5. 受取り側データ項目の転記開始位置が、バイト境界の位置にない。かつ、 6. 「送出し側データ項目のビット長」<「受取り側のビットデータ開始位置から最初のバイト境界までのビット長」である。かつ、 7. 送出し側データ項目のビットデータがバイト境界を跨ぐ位置にある。または、送出し側データ項目の開始位置から6.の「受取り側の最初のバイト境界までのビット長」までの間にバイト境界がある場合 <p>条件2の例)</p> <pre> DATA DIVISION. WORKING-STORAGE SECTION. 01 DATA1. 02 DATA1-1 PIC 1(5) BIT. 02 DATA1-2 PIC 1(4) BIT. 02 DATA1-3 PIC 1(7) BIT. 01 DATA2. 02 DATA2-1 PIC 1(10) BIT OCCURS 5 TIMES. 01 ANS-DATA PIC 1(10) BIT VALUE B"1111". 01 CNT PIC 9 VALUE 2. PROCEDURE DIVISION. MOVE X"FFFF" TO DATA1. MOVE DATA1-2 TO DATA2-1(CNT). IF DATA2-1(CNT) = ANS-DATA THEN DISPLAY "OK" ELSE DISPLAY "NG" *> B"11111110000" END-IF. </pre>

項番	V/L(*)	P番号	変更内容
2	V10.1.0	PG72597	<p>以下の条件の場合、NetCOBOL V10.1.0では、実行時にWRITE AFTER ADVANCING PAGEの実行が有効となりませんでした。NetCOBOL V10.2.0以降は、障害修正により正しく動作するようになりました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 行順ファイルで外部ファイルハンドラと連携している。かつ、 2. 1.に対するOPEN文の実行直後にAFTER ADVANCING PAGE指定のWRITE文を実行している。
3	V10.1.0	PG73346	<p>以下の条件の場合、NetCOBOL V10.1.0では、実行時に実行時メッセージJMP0320I-I/Uに埋め込まれる8桁の16進文字の下位4桁に不要なゼロ列が設定される問題がありましたが、NetCOBOL V10.2.0以降は、障害修正により正しく動作するようになりました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. COBOLファイルシステム(注)を使用したファイル操作を行っている。かつ、 2. 以下のいずれかの入出力文を実行している。かつ、 <ul style="list-style-type: none"> － READ文 － WRITE文 － REWRITE文 － DELETE文 － START文 3. 2の入出力文の実行が失敗した。 <p>注:ファイルの高速処理(BSAM)を指定している場合、該当しません。</p>
4	V10.1.0	PG75097	<p>以下の環境・発生条件の場合、NetCOBOL V10.1.0では、Windows版 NetCOBOL Studioのリモートデバッグ機能を使用して、Red Hat Enterprise Linux (for Intel64)上で動作するCOBOLアプリケーションに対するリモートデバッグを開始する際、「デバッガ本体部またはエンジン部でエラーが発生しました。(65535)」が表示され、デバッグを開始できない問題がありましたが、NetCOBOL V10.2.0以降は、障害修正により正しく動作するようになりました。</p> <p>[環境]</p> <p>NetCOBOLのリモート開発において、サーバ環境が以下に該当する場合、本現象が発生します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. サーバがRed Hat Enterprise Linux (for Intel64)である。かつ、 2. サーバに、以下のいずれかの製品がインストールされている。かつ、 <ul style="list-style-type: none"> － Linux Intel64版 NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージV10.1.0 － Linux Intel64版 NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージV10.1.0 3. サーバ上で使用しているgdbが7.0版以降である(RHEL5.5以降をインストールしている場合、またはgdb-7.0以降を単独でインストールしている場合が該当します)。 <p>[発生条件]</p> <p>COBOLアプリケーションを、Windows版 NetCOBOL Studioからリモートデバッグする場合。</p>

* : V/Lは障害が存在する範囲を示します。

2.3 MeFtの互換に関する情報

ここに記載する情報は、以下の製品に適用されます。

- NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Standard Edition 運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ

2.3.1 障害修正に関する互換情報について

ここでは、MeFtについて、NetCOBOL V10.2.0以降で修正された障害により動作が変わるものを、下表で説明します。

表2.3 MeFtの障害修正に関する互換情報

項番	V/L(*)	P番号	変更内容
1	V10.1.0～ V10.2.0	PG78188	<p>以下の条件の時、フリーフレーム形式の帳票定義体で用紙の改ページ後、帳票定義体を切り替えて出力を行うと、異常動作(*1)となる問題を修正しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. フリーフレーム形式の帳票定義体を使用する。かつ、 2. フレームの縦位置が0以外である。かつ、 3. フレームに含まれるパーティションを出力する。かつ、 4. “用紙の改ページ”を指定してプリンタ装置の制御を呼び出す。または、“出力して改ページ”を指定してパーティション出力を呼び出す。または、最終リンクフレームで“改フレーム”を指定して出力する。かつ、 5. 帳票定義体を切り替えて出力を行う。 <p>*1: 出力形態により、現象が異なります。</p> <p>以下は、2ページ目で帳票定義体を切り替えて出力した場合の結果です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ VSPシリーズのプリンタへの印刷の場合(正常動作) 正常終了し、2ページ印刷されます。 ・ PostScriptプリンタへの印刷の場合(異常動作) 異常終了し、セグメンテーションフォルトが発生します。 ・ PDF出力の場合(異常動作) 出力処理が通知コード“9M”でエラー終了します。 <p>修正前の動作に戻す場合、環境変数“MEFTFRAMEPGSKIP”に“C”を指定してください。</p> <p>shの指定方法) \$ MEFTFRAMEPGSKIP=C;export MEFTFRAMEPGSKIP</p> <p>cshの指定方法) % setenv MEFTFRAMEPGSKIP C</p>
2	V10.1.0	PG77027	<ul style="list-style-type: none"> ・ 変更内容1 <p>以下の条件の時、本来、次行に送り出されるべきでない文字列が次行に送り出される問題を修正しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 矩形混在項目または矩形英数字項目のプロパティで「句読点のぶら下げ」または「行頭／行末禁則」のいずれかをONにした。かつ、 2. 「ワードラップ」をONにした。かつ、 3. 項目内のいずれかの行の末尾が空白である。かつ、 4. 3.の行末尾の空白の直前がASCIIコードで0x21～0x7Eの範囲の文字が2個以上連続している。かつ、 5. 4.の文字列の直前が空白文字である。かつ、 6. 5.の空白の前に空白以外の文字が存在する。 <p>[備考] 変更内容1について、修正前の動作に戻す場合、以下の環境変数を指定してください。</p>

項番	V/L(*)	P番号	変更内容
			<p>環境変数:MEFTWRAPCONTROL 設定値:1</p> <p>shの指定方法) \$ MEFTWRAPCONTROL=1;export MEFTWRAPCONTROL</p> <p>cshの指定方法) % setenv MEFTWRAPCONTROL 1</p> <p>・ 変更内容2</p> <p>以下の条件の場合、本来、複数行に分割されるべきでない文字列が分割される問題を修正しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 矩形混在項目または矩形英数字項目のプロパティで「行頭／行末禁則」をONにし「行頭および行末」または「行末のみ」を指定した。かつ、 2. 「ワードラップ」をONにした。かつ、 3. 項目内のいずれかの行でワードラップや行頭・行末禁則による追い出しが発生した。かつ、 4. 3.の追い出しを行ったあと、行末尾が空白となる。かつ、 5. 4.の直前がASCIIコードで0x21～0x7Eの範囲の行末禁則文字である。かつ、 6. 5.の直前がASCIIコードで0x21～0x7Eの範囲の文字である。かつ、 7. 6.の文字列の直前が空白である。かつ、 8. 7.の空白の前に空白以外の文字が存在する。 <p>[備考]</p> <p>変更内容2については、実行時に、以下の環境変数を指定することで修正が有効となります。</p> <p>環境変数:MEFTWRAPCONTROL 設定値:2</p> <p>shの指定方法) \$ MEFTWRAPCONTROL=2;export MEFTWRAPCONTROL</p> <p>cshの指定方法) % setenv MEFTWRAPCONTROL 2</p>
3	V10.1.0	PG77029	<p>以下の条件の時、List Creator のPDFフォント登録機能で登録したフォントが有効とならず、登録しようとしたフォント上の文字が「・」などで出力される問題がありましたが、登録した文字で出力されるようになりました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. List Creator のPDFフォント登録機能で、以下のフォントを登録し、そのフォントを指定した帳票をPDFファイルに出力する。 <ul style="list-style-type: none"> － FUJ明朝体 － FUJゴシック体 － @FUJ明朝体 － @FUJゴシック体 <p>修正前の動作に戻す場合、環境変数“MEFTPdffontsearch”に“2”を指定してください。</p> <p>shの指定方法) \$ MEFTPdffontsearch=2;export MEFTPdffontsearch</p> <p>cshの指定方法) % setenv MEFTPdffontsearch 2</p>

* : V/L は障害が存在する範囲を示します。

2.4 Jアダプタクラスジェネレータ開発環境の互換に関する情報

ここに記載する情報は、以下の製品に適用されます。

- NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ

互換に関する情報はありません。

2.5 Jアダプタクラスジェネレータ運用環境の互換に関する情報

ここに記載する情報は、以下の製品に適用されます。

- NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Standard Edition 運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ

互換に関する情報はありません。

2.6 MeFt/Web

ここに記載する情報は、以下の製品に適用されます。

- NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Standard Edition 運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ

互換に関する情報はありません。

2.7 SIMPLIA/COBOL支援キット

ここに記載する情報は、以下の製品に適用されます。

- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ

互換に関する情報はありません。

2.8 PowerSORTの互換に関する情報

ここに記載する情報は、以下の製品に適用されます。

- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ

PowerSORTの互換に関する情報は、“PowerSORT リリース情報”を参照してください。

第3章 プログラム修正一覧

本ソフトウェアでは、以前のバージョン・レベルで発生した障害が修正されています。

ここでは、本バージョン・レベルで修正された修正番号および修正内容を説明します。

3.1 NetCOBOL開発環境のプログラム修正一覧

ここに記載する情報は、以下の製品に適用されます。

- NetCOBOL Base Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ

表3.1 NetCOBOL開発環境のプログラム修正一覧

項番	V/L(*)	P番号	現象
1	V10.1.0 ～ V10.3.0	PG88850	<p>以下の条件の場合、COBOLプログラム実行時にプログラムが異常終了する、または、比較・演算・転記の結果が正しくない場合があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 翻訳オプションOPTIMIZEが有効である。かつ、 2. 以下のデータ項目を宣言している。 <ol style="list-style-type: none"> a. 以下のいずれかのレコード内のデータ項目である。 <ul style="list-style-type: none"> - オブジェクト定義・ファクトリ定義のファイルのレコード - オブジェクト定義・ファクトリ定義の作業場所節内のレコード かつ、 b. 以下のいずれかの属性である。 <ul style="list-style-type: none"> - 18桁以下の2進項目 - 指標データ項目 かつ、 c. OCCURS句の指定がない項目である。かつ、 d. OCCURS句の指定がある集団項目に従属していない。かつ、 e. レコード内の位置が、OCCURS DEPENDING ON句の指定がある項目の後でない。 かつ、 3. 手続き部で、2.のデータ項目と領域の重なりのあるデータ項目を使用していない。かつ、 かつ、 4. 手続き部で、2.の項目に値を設定している。
2	V10.1.0 ～ V10.3.0	PG92450	<p>以下の条件の場合、翻訳オプションOPTIMIZEが有効なプログラムの実行時に、ゼロ抑制の数字編集転記において先行ゼロ列に不正な文字(ゼロ)が転記されることがあります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 翻訳オプションOPTIMIZE(*1)が有効である。かつ、 2. 数字編集項目へ転記する文を記述している。かつ、 3. 2.の文の位置から前方100行以内(*2)に、以下の記述がない。かつ、 <ul style="list-style-type: none"> — 節 — 段落

項番	V/L(*)	P番号	現象
			<ul style="list-style-type: none"> — 条件文 — 手続き分岐文(*3) <p>4. 2.の数字編集項目には、編集方法にゼロ抑制のみを指定している(PICTURE句の文字列に'9','Z','*'を組み合わせて使用している)場合。</p> <p>*1:翻訳オプションのデフォルト値はOPTIMIZEです。</p> <p>*2:注記行、空白行はカウントしません。本障害はコンパイラの内部条件に影響されるため、発生条件に一致しても正しく転記される場合があります。</p> <p>*3:次の実行文でない文に制御の明示的な移行を起こす文を指します。</p>

* : V/Lは障害が存在する範囲を示します。

3.2 NetCOBOL運用環境のプログラム修正一覧

ここに記載する情報は、以下の製品に適用されます。

- NetCOBOL Base Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Base Edition 運用パッケージ
- NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Standard Edition 運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ

表3.2 NetCOBOL運用環境のプログラム修正一覧

項番	V/L(*)	P番号	現象
1	V10.1.0 ~ V10.3.0	PG88602	<p>以下に示す条件の場合、ワークユニット停止時に以下のメッセージを出力してInterstage Business Application Serverのアプリケーション連携実行基盤が異常終了する場合があります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>*** glibc detected ***: double free or corruption (!prev):0x0000000000000000***</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 1. DISPLAY文または実行時メッセージの出力先に汎用ログを指定している。かつ、 2. アプリケーション連携実行基盤の動作モードがプロセスモードである。かつ、 3. ワークユニットを停止した場合。

* : V/Lは障害が存在する範囲を示します。

3.3 MeFtのプログラム修正一覧

ここに記載する情報は、以下の製品に適用されます。

- NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Standard Edition 運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ

プログラム修正の情報はありません。

3.4 Jアダプタクラスジェネレータ開発環境のプログラム修正一覧

ここに記載する情報は、以下の製品に適用されます。

- NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ

プログラム修正の情報はありません。

3.5 Jアダプタクラスジェネレータ運用環境のプログラム修正一覧

ここに記載する情報は、以下の製品に適用されます。

- NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Standard Edition 運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ

プログラム修正の情報はありません。

3.6 MeFt/Webのプログラム修正一覧

ここに記載する情報は、以下の製品に適用されます。

- NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Standard Edition 運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ

表3.3 MeFt/Webのプログラム修正一覧

項番	V/L(注)	P番号	現象
1	V10.3.0	PG85596	画面機能において、ラジオボタン付き選択群の先頭項目を入力対象外にした場合、ラジオボタンに選択状態を示す点が表示されたままグレースアウトされます。選択状態は入力対象項目に表示されているため、択一選択なのに選択状態が複数あるように見えます。
2	V10.3.0	PG85930	MeFt/Webの画面で、日本語入力時に漢字変換を行い、候補文字から漢字を選択すると、カーソルが消えます。その後、続けて文字を入力しようとする、一旦画面の左上から表示されて入力されます。
3	V10.3.0	PG89469	以下の条件の場合、MeFtの画面機能が応答なしになることがあります。 1. MeFt/Webのクライアントを複数セッションで使用している場合 (IEのスレッドが複数になります)。かつ、 2. ウィンドウ情報ファイルに自動アクティブ化の指定がある場合。かつ、 3. HTMLに貼り付けないウィンドウを表示した場合。

3.7 SIMPLIA/COBOL支援キット

ここに記載する情報は、以下の製品に適用されます。

- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ

プログラム修正の情報はありません。

3.8 PowerSORTのプログラム修正一覧

ここに記載する情報は、以下の製品に適用されます。

- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ

PowerSORTのプログラム修正に関する情報は、“PowerSORT リリース情報”を参照してください。